

佐渡市立高千小学校

令和7年度学校だより

令和7年10月6日 No.7

し お か ぜ

「才能」か「努力」か

校長 後藤 洋子

長い長い暑さが過ぎ、ようやく秋めいてきました。10月、神無月。少し前までは暑さ指数WBGTの結果を業間休み、昼休みに放送で知らせていました。最近は、秋晴れの中、秋の虫探しをする子どもたち、校庭で走り回る子どもたち、体育館でボール遊びをする子どもたちの声が嬉しくはずみず。

10月2日（木）、校内マラソン大会が行われました。ご多用の中、多くの保護者の皆様や地域の皆様から子どもたちを温かく見守り、熱い声援をいただきました。お陰様で、子どもたちは自分で選択したコースを完走することができました。ありがとうございました。

全校朝会で子どもたちに以下のようなお話をしました。

皆さん。「才能」という言葉を知っていますか？もともと生まれながらに持っている力のことを言います。この言葉とよく引き合いに出される言葉が「努力」です。この「努力」をする、しないは個人の自由です。そこで質問です。皆さんはどちらの考えですか？

もともと持っている才能が一番大事で、努力によってそれほど変わるものではない。と思う人は、グーの手を出してください。

いえいえ、才能というものは、実はたいしたことではなくて、努力しただけでその人を伸ばすのだ。と思う人は、パーの手を出してください。

(約15%の人がグー、約85%の人がパーでした。)



今朝のお話は、どちらが正しいかというお話ではありません。どちらの考え方を持つかによって、その人の未来が変わってくるというお話です。

例えば、パズルをします。簡単なものから難しいものにしていきます。すると、Aの人とBの人では、行動に違いが出てくるのです。Aの人は、「こんなことをしていても意味はない。」と諦めてしまいます。Bの人は、「難しいな。でも少しずつできてくるので楽しい。」と、粘り強く考えます。Aの人は「やらない」という道を選び、Bの人は「挑戦を楽しむ」という道を選びました。スタートは一緒でもAの考えで生きるか、Bの考えで生きるかで、未来が大きく変わってしまいます。

2つの違いは、こんなときにも見られます。友だちにそっけなくされたり…、お家の人や先生から注意されたり…。

Aの人は、これらのことに落ち込んで自己嫌悪に陥ったり「あの人が悪い」「あの人は分かってくれない」と相手を責めます。

Bの人は、何に気を付ければいいのか？と友だちに相談したり、自分で考えたりして同じ間違いや失敗をしないと前向きになります。



先生方は皆さんに「失敗することを恐れない」「失敗を恐れて挑戦しないことがもったいない」などと話をすることがあると思います。人は努力次第でいくらでも未来を切り開いていけると、一人一人に無限の可能性を感じているからだと思えます。自分の可能性を一番信じなくてはいけないのは、自分自身です。

